

平成21年度 特例民法法人 岐阜県臨床検査技師会
第2回臨時総会 議事録

1. 開催日時

平成22年3月7日（日） 10:00－12:50

2. 開催場所

岐阜市民病院 4階講堂

〒500-8323 岐阜市鹿島町7-1

3. 出席正会員数

556名（当日出席者 47名、委任状 509名）

4. 議案

（1）第一号議案 平成19年度決算報告・決算監査報告

（2）第二号議案 平成20年度決算報告・決算監査報告
各部長説明について

5. 進行

1) 開会の辞 永井 正信 副会長

2) 司会者 西村 孝 庶務部長

3) 会長挨拶 北村 顕 会長

会長より牛丸公認会計士の紹介があった。

4) 議長選出

議事に入る前に出席者に対して議長の選任について選出方法を募った。

会場内より司会者一任の声があり、司会者は議長として次の2名を指名した。

司会者に対して議長の承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

議 長 平沢 弘行（岐阜県総合医療センター）

伊藤 秀明（岐阜市民病院）

5) 総会役員の選出

議長により書記2名、資格審査委員7名、議事録署名人2名の指名があり、会員の承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

総会役員を下記に示した。

書 記 多和田 嘉明（東海中央病院）

松浦 康博（株式会社メディック）

資格審査委員

岐阜地区 玉置 佳澄（岐阜赤十字病院）

松山 昌史（岐阜市民病院）

西濃地区 森 仁美（揖斐厚生病院）

飛騨地区 藤木 誠（下呂温泉病院）

中濃地区 三輪 洋嗣（中濃厚生病院）

青木 雄一郎（鷺見病院）

東濃地区 山本 将毅（土岐市立総合病院）

議事録署名人 一柳 好江（岐阜市民病院）

西村 孝（岐阜大学医学部附属病院）

6) 資格審査報告

資格審査委員の玉置委員より総会出席者および委任状提出会員の資格審査報告がなされた。正会員数 726 名中、出席会員数 47 名、委任状提出者 509 名で合わせて 556 名で過半数以上となり本会・定款 23 条により本総会が成立したことが報告された。

これにより議長は総会の成立を宣言し、審議に入ることにした。

7) 議案審議

議案書に基づいて審議を行った。

(1) 第 1 号議案

①平成 19 年度決算報告

西山会計部長より報告がなされた。

平成 19 年度消費収支計算書の報告

○消費収入合計は 14,904,988 円で内訳は下記の報告であった。

会費収入	11,730,000 円
交付金収入	1,102,900 円
事業収入	2,050,102 円
雑収入	21,986 円

○消費支出合計は 19,411,804 円で主な内訳は下記の報告であった。

事務所運営費支出	1,527,607 円
事務費支出	1,654,764 円
会議費支出	1,327,667 円
学術費支出	2,990,996 円
精度管理調査費支出	3,019,352 円
負担金支出（会費支出）	7,485,250 円

この報告に対する質疑を行った。

1) 学術費支出の講師謝礼が約 100 万円でかなり多いので、その内訳を教えてください。

・山本副会長から説明があり、中部学会の講師料が主であると答弁された。

2) 別の会員から具体的に講師謝礼の詳細を報告してほしいとの意見が出された。

・山本副会長より詳細な説明がなされた。

平成 19 年度は講師人数が多いのと交通費のかかる講師が多くなり講師料が高くなっている。

・北村会長より追加説明が行われた。

中部学会のテーマで精度管理を企画した。標準化から 6 カ月たち、評価のため、全国規模の専門講師を依頼して、講師料が多くなった。

この時点では、岐臨技の予算状況が把握できていなかった。

3) 事業計画によって予算規模を決定していると思いますが、今回の支出増大は思わぬ事情ができたためかどうか聞きたい。

・会長から答弁された。

・予算は事業計画に近い金額を計上した。会計部で執行する予算がないという指摘がなく、理事会でもチェックができていなかった。精度管理での予算枠では執行でき

ないが、特別会計枠の資金から運用して、支出が増えていった。各部が一生懸命企画して、行っていたので、会計部として支給できないとは言えなかった。

4) 平成19年度からどうして支出が増大して行ったのか。

- ・会長より答弁があった。

特別会計予算の支出、事務所開設による事務所運営費用が生じたこと、中部学会の開催、精度管理事業の拡大等で増大したと思われる。

5) 各部長から「各部の予算収支」について説明をしてほしい。

各部長から答弁があった。

< 1 > 近藤学術部長より

- ・春季・秋季拡大研修会、県学会、部門別研究班研究会の事業計画案と収支決済の報告は事前に受け取っており、予算金額も把握している。
- ・しかし講師料については、会計部に一任しており、いくら支払われたかは把握していない。

< 2 > 田中精度保障部長より

特に指摘の多かった会議費を中心に詳細な説明をされた。

- ・実施した会議の内容、出席者は精度管理議事録に、支払い交通費は精度管理出納簿に記載している。
- ・各施設データ集計の会議、調査結果報告会の打ち合わせ会議を行っているが、年度途中から日臨技標準化の事業が加わりプール血清作成の必要が生じ、プール血清作成の運営会議が増えた。
- ・精度管理の事業については精度管理委員会の議事録に記載報告しており、理事会で承認を受けながら遂行してきた旨の説明があった。
- ・予算内での事業を行っては来たが、事業予算の3割を占めており、今後は事業のスリム化を図って支出を抑えて行きたいと説明された。

この精度管理事業支出についての質疑を行った。

1. 精度管理基幹施設のパソコンの配備費用はいくらか。

日臨技からの予算で配備し、岐臨技からの支出はない。

2. プール血清保存に使用するフリーザーの配備費用はいくらになっているか。

61万2360円で、平成20年度財産目録に記載してある。

< 3 > 石郷組織調査部長より

事業支出は次のように説明された。

・平成19年度事業支出

地区活動費 15万円（3地区あり1地区について5万円）各地区で活動する予算。

組織調査費 13万8600円 会員の表彰費用

・平成20年度事業支出

地区活動費 15万円（3地区あり1地区について5万円）各地区で活動する予算。

組織調査費 3万2350円 会員の表彰費用

- ・功労賞の該当者を各地区理事から前もって選出される事が少ないため、予算計上は年度内にできないのが現状。

＜４＞ 鈴木広報部長より

- ・印刷代として会報（年５回）、名簿、学術誌の印刷を行った。
- ・会議費として会報、名簿、学術誌作成編集の打ち合わせに使用した。

＜５＞ 西村庶務部長より

管理費支出について説明があった。

- ・平成１９年度支出は４５７万１９７３円であり、内訳は次の通りであった。

事務費支出 １６５万４７６４円

会議費支出 １３２万７６６７円

法人費支出 ３万１３４０円

雑費支出 ３万５９５円

事務所運営費支出 １５２万７６０７円（７月からの運営のため、８ヶ月の決算）

事務所は年度途中から開設のため、予算計上していなかった

主な支出は、人件費 ６７１,６２５円、管理組合費 ２９０,６４６円、電話料金 ２６６,１１９円、機器リース費 １５０,０６０円となっている。

事務所運営費予算が計上されていなかったこともあり、管理費支出は予算 １８４万円に対し決算額は ４５７万 １９７３円と予算額を超えています。

- ・平成２０年度支出は ５３１万 １９５３円であり、内訳は次の通りであった。

事務費支出 １２１万 ７２２円

会議費支出 １３９万 ８３６０円

理事会の理事出席率がよく、会議費の支出が多くなっています。

法人費支出 ５万 ８８６０円

雑費支出 ２万 ７１９５円

事務所運営費支出 ２６１万 ６８１６円（１２ヶ月の決算）

事務所設置により、恒常的に管理費、人件費、機器リース費等が年間 ２６０万円余りの費用が生じた。

②決算監査報告

- ・中村監事より報告がなされた。
- ・はじめに監事としての知識不足で、会員の皆様にご迷惑をかけたことのお詫びをなされた。
- ・６月３０日の平成２０年度第１回定期総会において会計議案書不備の指摘を受け、これに伴い平成１９年度決算についても常務理事立会のもと会計監査を改めて実施した。
- ・会計調査委員会の調査で使途不明金はないとの報告に基づいて監査を進めた。
- ・予算と支出とのバランスが崩れている（支出超過）ので、予算に合った運営に改めて頂きたいと提言された。

以上の報告より、議長は第一号議案の承認を求めたところ、拍手多数により承認された。

(2) 第2号議案

①平成20年度決算報告

西山会計部長より報告がなされた。

平成20年度消費収支計算書の報告

○消費収入合計は15,797,324円で内訳は下記の報告であった。

会費収入	12,060,000 円
交付金収入	1,125,320 円
事業収入	2,593,000 円
雑収入	19,004 円

○消費支出合計は21,514,419円で主な内訳は下記の報告であった。

事務所運営費支出	2,616,816 円
事務費支出	1,210,722 円
会議費支出	1,398,360 円
学術費支出	2,334,733 円
精度管理調査費支出	3,771,467 円
負担金支出（会費支出）	8,314,000 円

②各部長説明

会員の提言により各部長による説明の要望があり、議長は各部長からの説明を求めた。

<1> 近藤学術部長より

別紙（平成20年度学術費支出の詳細報告）の配布資料に基づいて説明をされた。

- ・部門別研究会班費（予算）20万円（支出）19万円
- ・班長会議費（予算）0円（支出）11万4500円

予算化されていなかったが、各班活動連絡として重要であり、新たに始めた会議。

3回実施し、班長の日当・食卓費・交通費に支出した（1回当たり4万円程）。

- ・講師謝礼（予算）20万円（支出）19万9998円
- ・中部6県研修会助成金（予算）60万円（支出）65万円

5万円は会計に返金している。

- ・県学会（収入）67万3887円（支出）58万2057円
- ・春季拡大研修会（収入）45万6000円（支出）38万3218円
- ・秋季拡大研修会（収入）30万3000円（支出）21万4960円

少しでも支出を抑えるため、班研究会は会費300円の中で運営する。講師についても講師料に加えて、交通費も考えて講師の選考を行う等の意見を述べられた。

<2> 石郷組織調査部長より

平成20年度の組織調査部支出について説明をされた。

- ・地区活動費 15万円（3万円×5地区）
- ・組織調査費 3万2350円

内訳は会員功労賞の表彰費用（1人当たり7000円～8000円）と組織調査部の会議費。

- ・表彰規定が見直されているので60歳以上全員が必ずしも会員功労賞に該当するとは限らなくなっている。理事の経験6年以上もしくは班長4年以上とかの実績が必要になる。

＜ 3 ＞ 鈴木広報部長より

平成 20 年度の広報事業費支出について説明をされた。

- ・名簿と会報(5回)および会誌の発行を行い、その印刷費として 133 万 7366 円。
- ・編集会議費として 4 万 7650 円(3回開催した)。
- ・技師会のホームページ維持費として 7 万 5300 円支出した。
- ・広報部の予算は 114 万 5000 円であるが決算は 146 万 316 円となって赤字であるが、学術誌の印刷が広報の扱いになっているので、その分が予算より支出オーバーになった旨の説明であった。

＜ 4 ＞ 西村庶務部長より

事務所の開設による事務所運営費が新たに生じたので、主に事務所運営費支出についての説明をされた。

- ・平成 20 年度・事務所運営費支出は 261 万 6816 円(12 カ月分)であった。
人件費 100 万 9719 円(勤務時間 10:00-15:00 ※時間外勤務あり)
機器リース代 23 万 580 円、電話代 26 万 6571 円
電気代 9 万 1820 円、ガス代 6 万 2235 円
複合機消耗品費 28 万 5880 円、固定資産税 6 万 3300 円
管理組合費 28 万 7733 円
減価償却費 31 万 8978 円(事務所習得の翌年から発生するもの)
- ・事務所設置により、恒常的に管理費、人件費、事務機器リース費等が年間 260 万円余りの費用が生じた。
- ・専任の事務員を雇うことで、会員の皆様の問い合わせも滞ることなく対応ができ、案内発送等迅速に事務処理が行えるようになった。

この報告に対する質疑を行った。

- 1) 財産目録で流動負債の未払金はどういうもので、どうするべきものか教えてほしい。

山本副会長より説明をされた。

- ・日臨技への会費未払金 16 万円は平成 19 年度にさかのぼって調査したら判明した。この会費は岐臨技の口座には振り込まれているが、日臨技の口座へは振り込まれていないということ。
- ・岐臨技会誌印刷は前年度分が未払いで、次年度に支払っている。
- ・精度管理報告会資料集の印刷費も前年度分が未払いで、次年度に支払っている。

- 2) 平成 21 年 3 月現在において、精度管理事業部(QC リンクス使用料、試薬購入費、総括集印刷費)の未払い金 218 万 4810 円があるのはどういう事か。

山本副会長が答弁され、よく調査したところ未払いである事が分かった。

この答弁に対して、会計処理をしっかりと行ってほしいとの会員意見があった。

- 3) 事業経費を支出する時の、チェック体制をマニュアル化してほしいとの提言が会員より出された。また岐臨技の会費収入に合った、事業を行ってもらいたいとの意見が出された。

会長からは真摯にその提言を受け入れますと言われた。

④決算監査報告

中村監事より、会務および会計について適正に行われていると報告をされましたが、岐臨技には監事、理事の業務マニュアルがないので作成して頂き、これにより業務不備が生じないようにチェック体制をして頂きたいと提言をされた。

以上第二号議案について審議を行ってきたので、議長はこの議案について拍手による採決に入った。

結果、拍手多数で第二号議案は原案どおり可決成立した。

これにより、平成21年度臨時総会での議案審議が終了し、議長は本総会役員を解任した。

8) 閉会の辞（山本副会長）

以 上

議 長 印

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印